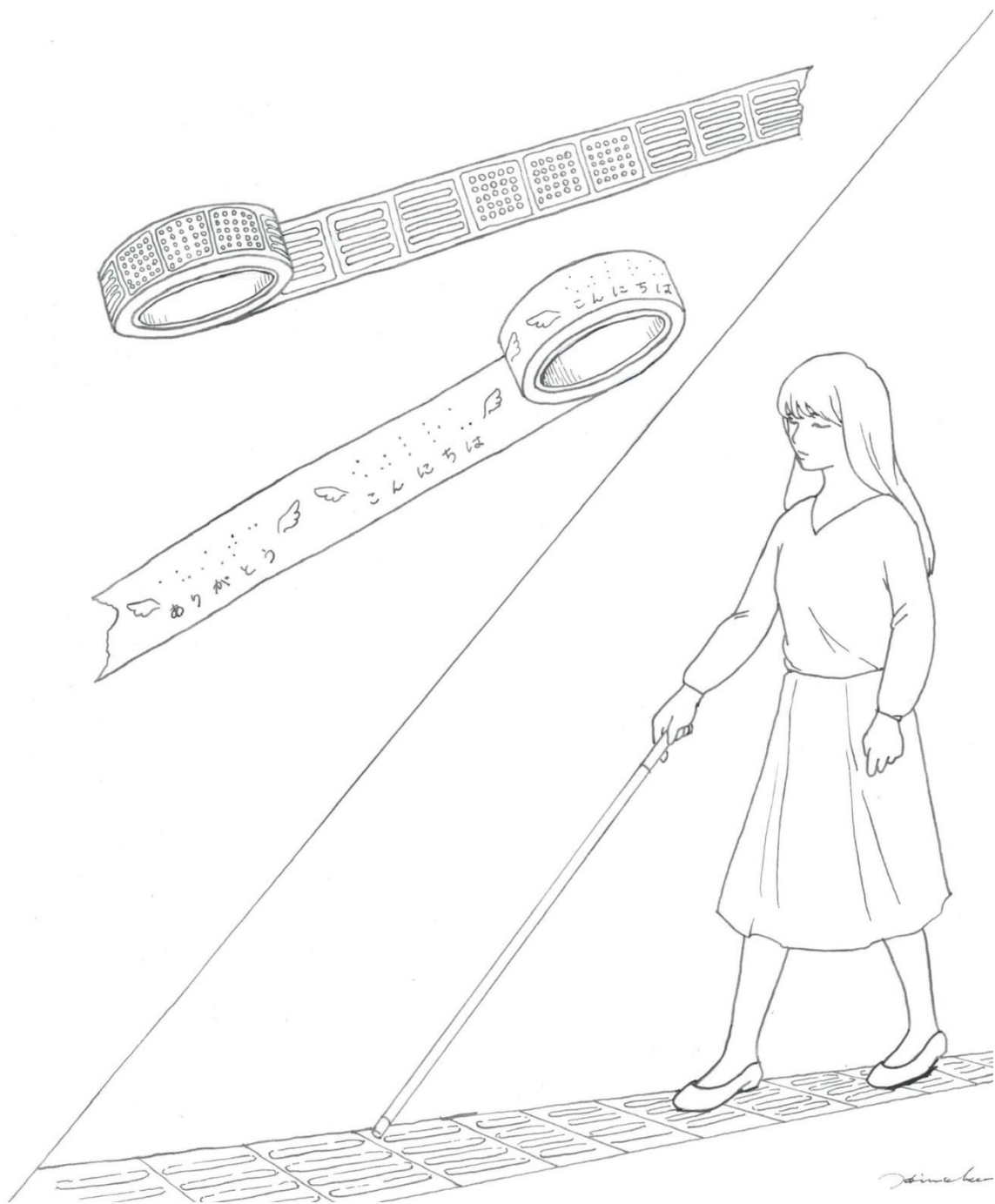


人をつなぐマスキングテープ



(Drawn by Hinako FUJIMURA)

マスキングテープを知っていますか。マスキングテープは、セロハンテープのようにクルクル巻いてあるテープで、何回も貼ったりはがしたりできます。いろいろなデザインのテープがあるので、手帳やノートに貼って、内容を目立たせたり、かわいく飾ったりできます。文房具店に行くといろいろなマスキングテープが売られていますが、ここで私は2つの特別なマスキングテープを紹介します。

1つは、「点字ブロック」のマスキングテープで、もう1つは、「点字」で「ありがとう」と書いてあるマスキングテープです。

点字ブロックというのは、駅や道路に敷いてある黄色いブロックで、デコボコが付いています。目が見えない人は、杖で点字ブロックを確認しながら歩きます。

点字は、目が見えない人のための文字です。触ってわかるように、字がデコボコしています。

さて、どうして点字ブロックや点字のマスキングテープがあるのでしょうか。目が見えない人が使うのでしょうか。

これを作ったのは、亥埜 理絵（いの りえ）さんです。亥埜さんには、目が見えない娘さんがいます。娘さんが大きくなって外を歩くことが増えると、亥埜さんは点字ブロックの大切さがよくわかるようになりました。

目が見えない人は、点字ブロックと杖を使って歩きます。だから、町の中の点字ブロックの上に自転車や荷物が置いてあったら、目が見えない人は通れま

せん。それだけではなくて、点字ブロックの上の自転車を倒して、そばにいる小さい子どもやお年寄りにけがをさせてしまうかもしれません。点字ブロックの上に物を置くことは、目が見えない人にも、そばにいる人にも、危険なことなのです。

「点字ブロックの上に物を置かないでください」と言うことはできます。でも、それでは目が見えない人がみんなにお願いしているような気持ちになってしまいます。そうではなくて、多くの人にもっと自然に点字ブロックや目が見えない人のことを知ってほしいと、亥埜さんは思いました。そして考えたのが、マスキングテープだったのです。

かわいいデザインのマスキングテープだったら、いろいろな人が興味を持ちます。そして、マスキングテープを使ったり見たりした人が、点字ブロックや目が見えない人のことを知りたいと思うかもしれません。そうやって、点字ブロックや目が見えない人のことを知る人が増えればいいなど、亥埜さんは思っています。

テープはもともと、何かと何かをくっつけて、つなぐためのものです。この2つのマスキングテープが、目が見えない人と私たちをつないでくれるのかもしれない。

(1052 字)

(2020.10 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- <https://tsubasanokaikanaga.wixsite.com/tsubasanokai/original-goods>
- <https://soar-world.com/2018/03/07/tenjimaskingtape/>
- <https://curazy.com/archives/240158>
- <https://spot-lite.jp/tubasanokai/>

(2020.10.5 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

When you use this work, please indicate the source as in the example above.